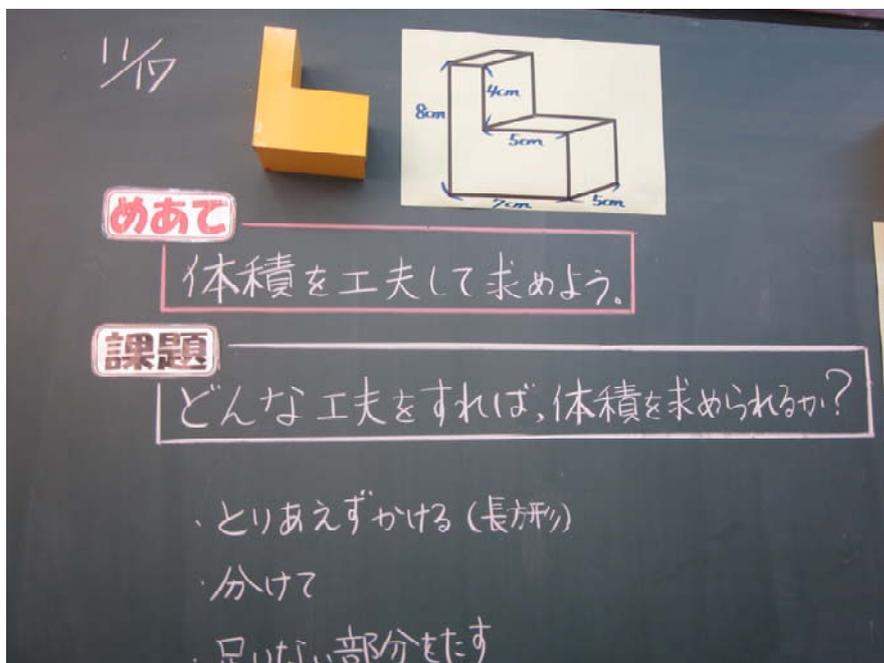


阿賀町立三川小学校学校だより



みかわっ子

平成29年 11月 29日



【5年生算数の授業】

考え、表現する力を育てる

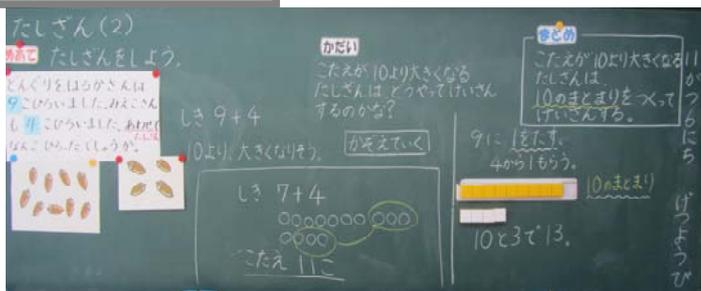
校長 栗林 操

「先に生まれただけの僕」という学園ドラマを興味深く見ています。アイドルグループ嵐の櫻井翔さんが民間から高校の校長として採用され、職員や生徒と共に学校づくりを考えていくストーリーです。その中で、「これを勉強して何の役に立つのですか？」という生徒からの質問に、櫻井校長が考え込んでしまう場面がありました。「何のために勉強するのか」・・・多くの人が一度は疑問に思ったことがあるのではないかと思います。みなさんならどう答えますか。

2020年は東京オリンピックだけでなく、小学校教育にとっても極めて重要な年です。小学校での学習の指針となる新しい学習指導要領がスタートし、その中には上の疑問についての答えも明確に示されています。それは各教科や領域において「見方・考え方」を育てるということです。各教科等で培った「見方・考え方」は、子どもたちが生きていく中で出会う様々な課題を解決するためのスキルにつながっていくのです。その「見方・考え方」を育てるためには、子どもたちが課題としっかり向き合って考えること、自分の考えを分かりやすく表現し、他者と話し合いながら考えを深めていくことが大切です。三川小学校では、考え、表現する力を育てることを目標に全職員・全学級で取り組んでいます。少子高齢化と人口減少の加速化、グローバル化、人口知能(AI)の出現による仕事の変化等、子どもたちがこれから踏み出していく社会の変化にしっかりと対応し、乗り越えていく力を授業を通して育てていきたい・・・私たち職員の願いです。

課題を自覚し、考え、話し合う授業の推進

前述の「考え、表現する力」を育てるために、当校では今年度、課題を自覚し、考え、話し合う授業を研究の柱にして取組を推進しています。「課題を自覚する」とは、子ども自身がこの時間に考えることをしっかり意識することを示します。そのために、教師は子ども



【めあて・課題・まとめのある授業：1年生算数】
もが問いをもつような働きかけを工夫し、考えたくなるような学習課題を設定します。

そして課題をエネルギーに、自分で考え、友達と話し合って解決に向かう授業づくりに取り組んでいます。話し合いの中では、友達の考えに対して付け足しや質問、意見を言うことに加え、「ここまでは分かったけど、ここから困っている」というように、分からないことも大切にしています。

また、1時間の授業の終末には、課題に対して何が言えそうかをしっかりまとめ、今日の学習での気づきや思いを振り返ります。ある子どもは振り返りの中で、次のように述べています。「**今日、私はこのところが分からなかったので、家に帰って自学でやりたいです。**」まとめることで確かな定着となり、振り返ることによって学びの意欲を高めることができると考えています。国語や算数に加え、どの教科においても課題を自覚し、考え、話し合う授業に取り組んでいます。

<課題をエネルギーに、自分たちで考え、話し合った生活科の授業>

2年生は生活科の授業で、身近な材料を使ったおもちゃ作りを行いました。ペットボトルで作った車を走らせてみて、子どもたちの願いを基に“もっと〇〇にするにはどうすればよいか”を課題にしました。もっと速く走らせたい、まっすぐに走らせたい、かっこよく走らせたい、子どもたちは自分で決めた課題解決に向かって教師をたよることなく、自分たちで工夫のポイントを考えていました。作った車でレース大会をしました。子どもの力ってすごいなと思うのは、例えばどうやったらまっすぐ走ったといえるかまで話し合ったところです。「**目で見て決めるのでもいいかな？」「誰が見てもまっすぐというにはどうすればいいのかな。」**「**そうだ、的に当てることのできたかどうかで決めよう。**」・・・主体的・対話的な学びによって、子どもの見方・考え方が確実に育っています。



【工夫した車でレースをしよう：2年生】

<地域素材を使うことで課題意識を高めた理科の授業>

あが野ニュータウン入り口の国道49号沿いに、きれいな地層の見える場所があります。6年生はその地層を使って、理科の学習を行いました。中学校理科の教科書に出てくる不整合がはっきり見える地層です。「この層はれき、砂、泥のどれからできているのかな？」実際にさわってみることで、納得することができました。そしてその後がすごいのです。



【本物に触れる：6年生理科】

「地層はどこでできたの？」

「海の底・・・。ということはここは昔、海の底だったと

いうことだよね。どうやって今のような陸地になったのだろう？」子どもたちは、観察を通して、自分たちで次の課題をしっかりとつかむことができました。

学びの基本は “聴く力”

学びは聴くことから始まります。「耳と目と心で聴く」・・・まずはこれを徹底しよう！と2学期から全校体制で取組を始めました。「心で聴く」とは考えながら聴くということです。「大切なことは何か、考えの似ているところと違うところは何か」を考えながら聴く力を育てていきたいのです。そのための第一歩として、聴くスキルを“あいうえお”にまとめました。(→)

全校集会や授業で、この“あいうえお”を意識した姿が見られるようになってきました。人の話を聴くことで、新たな知識を得ることができます。人の話を聴くことで、自分の考えを見直し、よりよい考えをつくることができます。三川小学校では、話が聴ける子どもたちを全職員で育てていきます。

【“あいうえお”を意識して
全校集会で話を聴く子どもたち→】



～ 全国学力・学習状況調査の結果を受けて ～

4月に全国の小学6年生を対象に、5年生までの学習の定着度や状況を調べる全国学力・学習状況調査が行われました。当校では課題であった算数の「思考力・判断力・表現力」に向上が見られ、全国平均に近づいてきました。これまで述べてきたように、「考え、表現する力」を育てることは、子どもたちが将来を生きるために必要な力を育てることです。日々の授業がより充実したものとなるよう、教職員はこれからも研修に励んでいきます。各家庭では、“早寝・早起き・朝ご飯+家庭学習”のリズムがしっかりとくれるよう、これからも御協力をお願いします。一緒に将来を担う子どもたちを育てていきましょう。

“休み時間に地震発生”を想定した避難訓練を行いました。

これまでの避難訓練は授業中に地震や火災が起こったことを想定して行い、基本の動きを身に付けてきました。しかし、地震等の災害はいつ起こるか分かりません。いつどんな時でも正しい行動が子どもたちだけでできるよう、今回は日も時間帯も伝えずに訓練を行いました。合わせて、Jアラートが出された時の対応についても確認をしました。Jアラートの場合は、基本は建物の中に入ることです。自分の家が遠い場合は、近くの家を助けるよう話をしました。子どもたちの登校や下校の途中でJアラートが出された場合は、地域の方からも子どもたちの誘導やお声がけをよろしくお願いします。

がんばりました！

◆ 川柳や俳句が新潟日報「ジュニア文芸」で紹介されました。

えがおはね 一番大事 一生ね 3年

*同じ笑いでも「作り笑い」はぎこちない笑いです。相手を信じると美しい笑顔になります。なぜでしょう。それは思いやる心が生まれるからでしょうか。(選者の評より)

海に行き 魚と泳ぐ ぼくの足 3年

山いもが まだかまだかと ねむっている 5年

だんごさし集会(新年1/15)に御協力をお願いします。

三川小学校伝統のだんごさし集会です。三川地区老人クラブの皆様をはじめ、毎年多くの地域の方から御協力をいただいています。子どもたちもとても楽しみにしています。詳しい案内を次回のお覧板でお届けします。今年もたくさんの方の御来校をお待ちしています。

これからの主な行事予定

- 12月 1日(金) 全校朝会 地域児童会10:30
- 4日(月) 個人懇談会 給食後下校13:15(～6日)
- 5日(火) Web配信問題(国語)
- 6日(水) Web配信問題(算数) お口の健康教室(2年・5年)
- 7日(木) クラブ活動(今年度最終)
- 8日(金) 児童朝会
- 14日(木) 委員会活動
- 15日(金) 音楽朝会
- 19日(火) 全校5限授業 下校14:55
- 20日(水) 給食後下校13:15(～21日)
- 22日(金) 2学期終業式 下校11:05 *給食はありません。
- 25日(月) 冬季休業(～1月8日)

